

地域への広報活動と、仲間作りの試み

平成29年度

「町会・自治会加入促進、活動活性化講座」

平成29年11月18日(土)

西荻窪町会



本日の流れ

- ①西荻窪町会の紹介
- ②町会活動の問題点・課題点
- ③町会を知ってもらうために
- ④仲間を増やすために

現在進行形の取り組みのご紹介



2・西荻窪町会とは

西荻南3・4丁目全域、西荻窪駅を基点とした中央線の線路と神明通りに 囲まれた三角の形。

西荻窪駅が含まれ、駅前の賑やかな商店会と、閑静な住宅地を有しています。

町内に公園が2箇所、区民集会所、保育園があります。

地域としては西荻窪ですが、荻窪地域区民センターを基盤とする荻窪町会連合会に属しています。そのため青少年育成委員会も荻窪の所属となっています。

居住 約3000世帯

加入 約700世帯



3・西荻窪町会役員構成

5年前

80代1人(無職)
60代5人(無職・パート・自営業)
50代1人(自営業・無職)
40代2人(自営業・区議会議員)
合計9名

活動は、お祝いの贈呈。
昼食会の開催。
集会への出席。敬老会？

震災を経て、
若い人の加入があった。

現在

70代1人 (パート)
60代5人 (主婦・区議会議員・無職)
50代3人 (自営業・会社員・区議会)
40代2人 (自営業・パート)
合計11名(うち2名は配偶者。2人で1人分の仕事)

いろいろと活動して5年。
実際に動けるのは半分！

②町会活動の問題点・課題点

役員になって、活動してみても見えてきたのは…

- 町会の活動が、地域に見えていない！！

➡ 活動しているなら お知らせしよう！

- 地域のことを、一部の人が担っている！！

➡ みんなでやりませんかの提案中！



③知ってもらうためにできること

1:おたよりの発行

「町会だより」「防災だより」。役員会後に発行。
1ヶ月の活動報告やこれからの予定、お知らせ。
町会としての考えや方向性など。



➡ 回覧板や掲示板

2:回覧板を見てもらうための工夫

- 行政からの回覧だけでなく、必ず町会発行のお知らせを入れる。
- 地域や商店会のイベント情報などを入れる。
- 回覧板に頭書きを付ける。
- 回覧を回す順番表を、内側に貼る。
- 回覧板にオリジナリティを持たせる。



➡ 読み応え・面白さ・期待感

3: 掲示板をみてもらうための工夫

a. 古い・汚れた・日に焼けたものははずす。
いつまでも貼っておかない。

b. なるべく新しい情報を掲示する。

c. 掲示作業の負担を少なく。
画鋏からマグネットの板に修繕。

d. 掲示の基準を示す(担当者に渡す)

期待感

楽に継続

掲示板の担当者に、
掲示するときの見本を渡します。

地域の人に

担当者に

見本を渡せば、悩まない。

掲示板の存在に気づいてもらう。

防犯効果に期待。

暗黙に、人の目があることをアピール。

縦・横のラインを揃えて貼ってもらうことで、乱雑さがなくなります。

4: 防犯パトロール隊の再編成



- 定期パトロール隊
(月2回・ピカピカベストを着用。拍子木鳴らして本格的に！)
- わんわんパトロール隊
(毎日のお散歩時にパトロール)
- お散歩パトロール隊
(毎日のお買い物やウォーキング時にパトロール)

無理なく、参加しやすい
= 誘いやすい
保険もかけられるよ！

誰でも参加可能。
町会加入・未加入問わず。
西荻窪町会内だけでなく、参加したい人に参加してもらう。

→ 現在の登録者 約100名

5: わかりやすい形でアピール！

- 町会のキャッチフレーズを作りました

「自助・共助・近助！ 顔の見える近所づきあい！！」

どんな町会で
ありたいかを
簡単にお知らせ

- オリジナルグッズを作りました(町会の目印)

防犯パトロールTシャツ



ウインドブレーカー



マーク



のぼり旗



わんわんパトロールバッグ

言葉にしなくても、
「町会が活動している」
とわかってもらえます

6・地域の人が参加しやすい行事を実施

大事なアピール
チャンス！



パトロール



救助・消火訓練



バザー



昼食会



古紙回収や古着回収



夏まつり



救命救急講習



震災救援所訓練



餅つき

7・地域の人と一緒に活動する



町内の評判の悪かった公園を、ワークショップを重ね、杉並区へ改善要望を提出。見違えるような公園になり、大勢の子どもや親子連れで賑わっています

地域の人関わったことで、苦情なし！

保護者や地域に、防災倉庫の存在を知ってもらえます！



簡易消火器具ハリヤーを使って、イベントのお手伝い

「道路の落書き」を楽しみながら消してもらえました。若い世代へ町会をアピール！



防災倉庫の壁に、保育園児の絵を飾りました

8・活動は、実施後すぐに報告

「町会だより」・「防災だより」・ホームページなどインターネットを活用

- ・ 公園の花咲かせ隊
- ・ 地域清掃
- ・ 違法看板撤去

- ・ 敬老のお祝い
- ・ 成人のお祝い
- ・ 中学校卒業のお祝い
- ・ 小学校入学のお祝い

こんなこともしています。



- ・ 地域の保育園、小学校、中学校との連携(お祭りの手伝い、震災救援所訓練など)

- ・ ごみ収集所改善
- ・ 備品の貸し出し(長机・パイプ椅子・大鍋・車椅子など)



9・インターネットを活用(試行錯誤中！)



1・ホームページ「西荻窪町会」で検索

活動をお知らせするとともに町会への入会や、パトロール隊申込み、ご意見を承れます。(まちの絆向上事業助成金)

2・Twitter @nishiogikubocho

(ツイッター。140文字でつぶやく)

3・Facebook 西荻窪町会

(フェイスブック。文字数・写真点数制限無し)

4・LINE「西荻窪町会 ID@zjf9251b

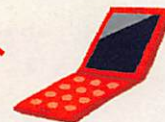
(ライン。情報発信のみ)

5・メールアドレス nishiogikubo.chokai@gmail.com 問い合わせいつでもどうぞ

インターネットやSNSをまったくやっていない人。
どれかをやっている人。
すべてやっている人。
紙でしか見ない人。
いろいろな形で届けたい。。



町会未加入・世帯若い世代へ、
情報を送りたい



いろいろなことを実施してみて・・・

地域の声

- 最近がんばってるね
- この地域に町会があったのですね
- 小さな子供がいるので防犯・防災の面でも、地域方々が見守ってくださっていると、とても心強く感じます
- 活発な活動を期待しています
- だんだん活発になって、若い方の参加が増えるように。大歓迎です
- 老若男女が気軽に楽しく参加できるイベントにとっても魅力を感じます

町会の認識は高まったように感じている

→ しかし、やってもらってありがとう。。では**続かない。**

役員さんの胸のうちを覗いてみると・・・

地域貢献！

充実している！

いつまで続けるの？
続けられるの？

でも、ちょっと身体がしんどい

みんなが喜んでくれる！

自分が辞めたら後は知らない！

どうやって続けて行けばいいの？

忙しいけど楽しい！

知り合いができて良かった！

町会はなくせない！

④仲間を増やすために

1・月1回の**役員会を公表**(どなたでも見学どうぞ！)

➡ 未入会の方・町内に住んでいない方でもOK。



2・町会の**行事やイベントも、どなたでもウェルカム!**(昼食会を除く)

➡ 餅つき・夏まつり・パトロール・消火訓練・震災救援所訓練
古着回収など。

3・手伝って欲しいという**声かけは、ひとりひとりに。具体的に。**

➡ 「夏まつりの手伝いをお願いしたい」はNG。
「〇月〇日、夏まつりのシロップかけ係、9時から2時
間お願いしたい」のように、見通しをつけやすく頼む。

4・地域で**活動したい人を、町会がお手伝いする。**

➡ イベントを実施する際に、どこに話をつければいいのか、保険は？
広報は？ などアドバイスや備品貸与など。

5・他の団体と**連携する**

- 西荻南きずなサロン(他町会や商店会)
- 神明中震災救援所運営連絡会
合同開催の**訓練や講習会**の案もあります。
- 神明健康クラブ

毎月第3日曜日
10:00~12:00
西荻南区民集会所

毎月1回、本部会
を開いています。

3ヶ月17回のプログラム。
毎週顔を合わせます。

6・**言葉がけは大事**

大変なことは誰もやりたがらない。
「大変なのよ。もう替って欲しい」「役員は大変」

➡ マイナスな言葉がけでは、離れるだけ。
それよりも「手が足りないから、ここだけ手伝って欲しい」
というのはどうでしょうか。

7・PTAに**期待しすぎない**

現在でさえも負担感が大きい。
高齢出産で子どもが小さい。親の介護がある。
現役世代にとって、町会は特にハードルが高い。
町会がPTAを手伝うよ!というスタンスで関係作りから。



まったく個人的な「理想」ですが、

一部の人が頑張るのではなく、

「地域でともに暮らす」気持ちを共有する“仲間”になれたり、
老若男女、自分の持てる能力(ハードだったりソフトだったり)を
少しずつ持ち寄ったり活動できれば。

365日のうちの2時間を、地域に使ってくれる人がたくさんいれば。

もっと楽に、楽しくいろいろなことができる気がしています。

ご静聴ありがとうございました。
西荻窪町会 秋山成子